

令和元年度「国語に関する世論調査」結果のポイント

文化庁が令和2年9月25日に発表した、「令和元年度『国語に関する世論調査』」結果の概要を紹介します。「今の国語は乱れていると思うか」について「乱れていると思う」（「非常に乱れていると思う」＋「ある程度乱れていると思う」）は6割台半ば。「国語がどのような点で乱れているか」については「敬語の使い方」と「若者言葉」が6割を超えていた。

1. 調査概要

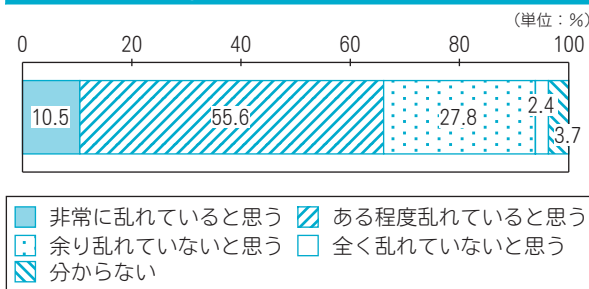
調査の目的	日本人の国語に関する意識や理解の現状について調査し、国語施策の立案に資するとともに、国民の国語に関する興味・関心を喚起する。
調査対象	全国16歳以上の男女
調査時期	令和2年2月～3月
調査方法	個別面談調査
回収結果	調査対象総数 3,557人 有効回収数(率) 1,994人(56.1%)

2. 国語に対する認識

(1) 国語が乱れていると思うか

「ふだんの生活の中で接している言葉から考えて、今の国語は乱れていると思うか」を尋ねた結果。「非常に乱れていると思う」の割合が10.5%、「ある程度乱れていると思う」が55.6%で、この二つを合わせた「乱れていると思う(計)」は66.1%となっている(図表1)。

図表1：国語が乱れていると思うか

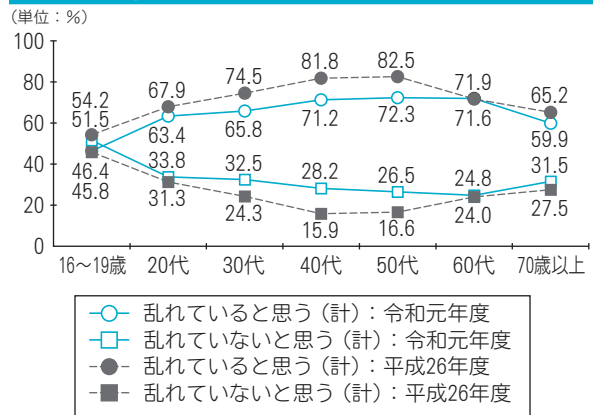


出典：文化庁「令和元年度『国語に関する世論調査』」を参考に当研究所で作成(以下同じ)

(2) 年齢別・過去の調査との比較

年齢別に過去の調査結果(平成26年度)と比較すると、「乱れていると思う(計)」の割合はほとんどの年代で減少傾向にあり、40代(△10.6)、50代(△10.2)では10ポイント以上減少している(図表2)。

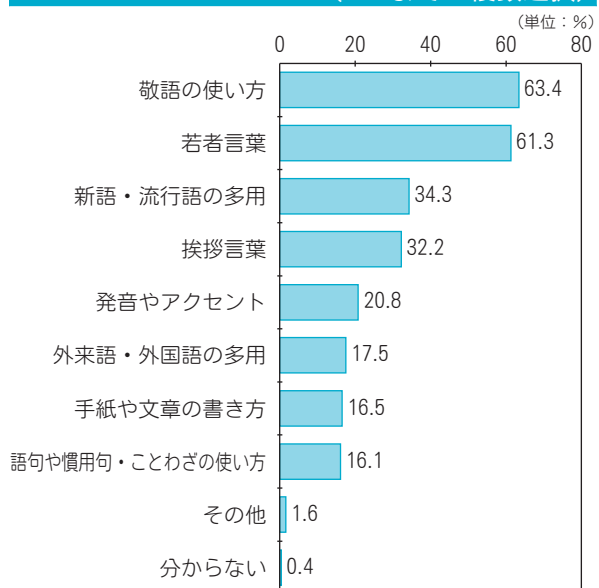
図表2：国語が乱れていると思うか(年齢別)



(3) 国語がどのような点で乱れていると思うか

2.(1)で「国語が乱れていると思う」と「ある程度乱れていると思う」を選択した人(66.1%)に、どの様な点で乱れていると思うかを尋ねた結果。「敬語の使い方」(63.4%)、「若者言葉」(61.3%)の割合が他に比べて高くなっている(図表3)。

図表3：国語がどのような点で乱れていると思うか(3つまでの複数選択)



3. 敬語に関する言葉遣いに対する印象

(1) 敬語の言い方

「誠に申し訳なく、深く反省させていただきます」「こちらで待たれてください」など八つの言い方を挙げて、気になるかどうかを尋ねた結果。「規則でそうなってございます」が最も高く81.5%、次に「こちらで待たれてください」が81.3%となっている（図表4）。

図表4：次の言い方は気になるか（単位：%）

	気になる	気にならない	どちらとも言いえない	分からない
先生は講義がお上手ですね	32.4	62.9	3.3	1.4
就職はもうお決まりになったのですか	40.5	55.5	3.0	1.1
誠に申し訳なく、深く反省させていただきます	49.0	48.0	2.3	0.7
規則でそうなってございます	81.5	15.8	1.6	1.1
昼食はもう頂かれましたか	67.5	29.8	2.1	0.6
お客様が参られています	77.4	20.7	1.3	0.6
お歩きやすい靴を御用意ください	78.0	20.0	1.4	0.6
こちらで待たれてください	81.3	17.2	1.0	0.5

4. 慣用句等の認識と使用

(1) 慣用句の意味

「手をこまねく」、「敷居が高い」など、三つの慣用句を挙げて、どの意味だと思うかを尋ねた結果。今回尋ねた三つの慣用句すべて、辞書等で本来の意味とされてきたものとは異なる方が多く選択されていた（図表5）。

なお、辞書等で本来の言い方とされてきたものをゴシック体太字で表記。（以下同じ）

図表5：どちらの意味だと思うか（単位：%）

	割合
「手をこまねく」	
(ア) 何もせずに傍観している	37.2
(イ) 準備して待ち構える	47.4
(ア)と(イ)の両方	4.6
(ア)、(イ)とは、全く別の意味	3.3
分からない	7.5
「敷居が高い」	
(ア) 相手に不義理などをしてしまい、行きにくい	29.0
(イ) 高級すぎたり、上品すぎたりして、入りにくい	56.4
(ア)と(イ)の両方	12.2
(ア)、(イ)とは、全く別の意味	0.6
分からない	1.9
「浮足立つ」	
(ア) 喜びや期待を感じ、落ち着かずそわそわしている	60.1
(イ) 恐れや不安を感じ、落ち着かずそわそわしている	26.1
(ア)と(イ)の両方	9.6
(ア)、(イ)とは、全く別の意味	0.4
分からない	3.8

(2) 慣用句の使い方

「雪辱を果たす／雪辱を晴らす」などの慣用句について、二つの言い方のうちどちらを使うかを尋ねた結果。辞書等で本来の言い方とされてきたものとは異なる言い方が多く選択されていた（図表6）。

図表6：どちらの言い方を使うか（単位：%）

	割合
「前に負けた相手に勝つこと」を	
(ア) 雪辱を果たす	38.3
(イ) 雪辱を晴らす	50.5
(ア)と(イ)の両方とも使う	3.7
(ア)、(イ)どちらも使わない	5.7
分からない	1.9
「今までのことを改め、最初から始めること」を	
(ア) 新規まき直し	42.7
(イ) 新規まき返し	44.4
(ア)と(イ)の両方とも使う	3.7
(ア)、(イ)どちらも使わない	5.7
分からない	1.9

（奥 桂子）